

# Weekly Report

2010~2011年度



作者の言葉

我が百合丘ロータリークラブのメンバーは、地域を育み、大陸をつなぐという使命を背負って活動しています。この多岐にわたる活動の中で、多くの方々に支えられ、励まされ、成長することができています。これからも、皆様と共に、地域を育み、大陸をつなぐという使命を背負って活動してまいります。

安藤 登

平成23年1月25日(火)

## 第1567回例会

会長 安藤 登  
 幹事 山口 篤  
 会報 中村 和広

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

### 第1567回例会記録 平成23年1月25日(火) 26/45回

<点鐘> 安藤登会長 お間違えのないようにお願いいたします。

<ソング> 我等の生業

<ニコニコ委員会> 鈴木委員

<お客様ご紹介> 安藤登会長

びわ湖八幡RC 安川正樹様→「久しぶりに参らせていただきました。よろしくお願いたします」。

びわ湖八幡RC 安川正樹様

川崎RC 白井勇様→「いつもお世話になります。よろしくお願いたします」。当クラブより 安藤登会長→「お客様ようこそ」。

川崎RC 白井勇様

山口篤幹事→「白井会員、増強委員会よろしくお願いたします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、安藤志子会員、井上久会員、井上勇会員、伊丹会員、鴨志田会員、北島会員、小塚会員、中島健児会員、中島真一会員、中村会員、野島会員、東会員、大矢会員、佐藤会員、関山会員、嶋会員、白井会員、高田会員、玉井会員、碓井会員、渡邊会員、山口福枝会員、山崎会員、結城会員、鈴木会員。

<会長報告> 安藤登会長

1. 2010年度期間終了米山奨学生終了式・歓迎会

2/27(日) 17:00~20:00

会長、幹事、米山委員長、カウンセラーが出席します。奨学生担当指導教官の出席もお世話クラブで連絡してください。

締切り2/15(火)必着

2. 会長・幹事会のお知らせ

3/9(水) 18:00~

3. 2011~12年度国際ロータリー (RI)テーマ決定

つれた会残金3,880円をニコニコにいただきました。

<出席委員会> 山口福枝委員長

<幹事報告> 山口篤幹事

\*文書着 川崎宮前RC 川崎麻生RC

川崎日吉RC

\*その他

2/1(火) 通常例会

2/8(火) 招聘卓話

2/15(火) →2/19(土) IM移動例会

昭和音楽大学 ユリホール

2/22(火) 定款細則により休会

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1567回	41*	33	8		80.49%
第1566回	41*	26	15	7	80.49%

\*出席免除会員1

- 第1569回 2月8日 招聘卓話
- 第1570回 2月19日 IM移動例会
- 第1571回 3月1日 会員卓話 古澤会員

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ロータリー財団> 北島委員長  
 しばらく徴収をサボっていましたが、来月からバリバリ集めますので、よろしくお願いたします。  
 渡邊会員→「家内の誕生日にお花をありがとうございます」。

<米山奨学委員会> 伊丹委員長  
 山口篤幹事→「家内の誕生日に素敵なお花をありがとうございます」。小塚会員→「新たな時代へ向けて、次世代をリードする新たな人材を育成すべく、新たな発想で米山事業を展開されるよう期待しています」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	30件	33,880円	700件	791,115円
財団	1件	15,000円	23件	300,000円
バネファクター	0件	0円	2件	172,000円
米山	2件	30,000円	28件	352,000円

本日のプログラム

<クラブフォーラム>

会員増強委員会 白井委員長  
 「前回、それぞれ発表をいただきましたが、その後の状況について各リーダーに発表していただきたいと  
 思います。まだ先の見えない日本経済の中大変ですが、今後もみなさんの力をいただき、一人でも会員の入会を勧めていただきたいと  
 思います」。



各チームで討議後、チームリーダーから推薦候補者の現況報告がされました。



TOPICS

■2010年10月15日(金)の日本経済新聞に掲載された、2002年度 東京RC会長 植田新太郎氏の記事をご紹介します。

東京RCは1920年日本最初のRCとして発足した。

その3年後、関東大震災が起こり世界各国から多額の義援金が寄せられ、東京RCはそれをもとに、震災孤児や被災者のための施設『ロータリーの家』を建設し、小学校や産婦人科医院への寄付、殉職警察官遺族への援助もしている。

2000年から始まったカンボジア北西部の地雷除去作業は、以来10年間で130万平方メートルが完了し、その費用1億5000万円はすべてロータリアンの寄付でまかない、その3分の1は東京RC会員の浄財だ。

植田氏は6歳のとき小児結核にかかった。当時の結核は死の病だったが、米国の抗生物質ストレプトマイシンで命拾いした。そんなことがあって、幼い頃から人の役に立ちたい気持ちがあった。だから植田氏がRC運動に参画するのは時間の問題だった。

日本のRCには67年に発足した『ロータリー米山記念奨学会』があって、奨学金の支給を受けて日本で学び帰国した留学生たちが、両国の架け橋になってくれることを願っている。

東京RCは2010年10月で90周年を迎える。振り返れば奉仕の道。そしてこれからも奉仕の道を歩み続ける。